

一般質問

前川 昌也 議員  
市民グループ未来の会



人口増対策についての  
具体策は

**Q** 移住・定住、さらに人口減少に歯止めをかけるための具体的な策とビジョンは。

**A** 本市では、坂出市まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定し、積極的な施策展開を図っています。より多くの皆様に住みたいと思っただけのまちを実現するためには、さまざまな施策を総合的に展開する必要がありますと考えています。一方、本格的な人口減少社会を迎え、各自治体が特色ある施策を掲げるなど、激しい都市間競争が繰り広げられる昨今、いかに独自性を発揮して他の自治体との差別化を図っていくかということも重要となっています。

本市としては、引き続き、移住希望者のニーズ把握に努めるとともに、本市が有する魅力や強みを生かしながら、住みたい、子育てしたいと思っただけのまちの実現に向け、人口減少の克服と地域活力の向上に取り組んでいきます。

(市長)

創業・中小企業支援について  
円滑な支援体制の構築は

**Q** 坂出商工会議所が実施する「ワンストップ創業相談窓口と個別指導事業」はどのような形態で行うのか。また、中小企業支援センターの設置の考えは。

**A** ワンストップ創業相談窓口では、創業希望者のさまざまな課題の相談や支援の情報提供を行い、市・地域金融機関と連携しながら問題解決や事業計画策定までの支援を実施しています。また、当窓口における相談の中で、専門的指導が必要と判断した場合に、個別指導事業として弁護士、税理士等の専門家からの指導を実施し、「経営・財務・人材育成・販路開拓」の4分野について創業者が習得する知識の平準化を図っています。

中小企業支援センターの設置については、同様の業務を実施している坂出商工会議所と協議していきたいと考えています。

(市長)

質問の項目  
質主・市職員について  
・公共施設のあり方について  
・都市計画マスタープランと  
立地適正化計画について

東原 章 議員  
市民グループ未来の会



学校における  
ICT環境整備は

**Q** 教育のICT化に向けた環境整備5か年計画を策定し、すでに整備期間が始まっているが、本市における現在の整備状況は。

**A** 本市においては、学習者(児童生徒)用、指導者用、校務用のコンピュータ、大型液晶テレビ等を整備し授業に活用しています。そのほか、ICT支援員について今年度は試験的に1名派遣され、授業で使用する教材作成等、学習活動において有益性が認められました。

今後、ICT機器の計画的な更新や無線LANに関するセキュリティなどの課題もあり、国が示した目標とされる水準には、学習用ツールや学校施設の整備等の促進に加え、教員の指導力向上や児童生徒の情報活用能力の育成等、多岐にわたる内容を維持・継続するため、費用・人材の確保に準備期間を含めて相当の時間が必要であると想定されます。

(教育部長)

にぎわいのあるまちづくり  
についての検証は

**Q** これまでに行ってきた補助制度・事業・イベントについて、好評なものや今後どのように広げ、他の事業と連携はできないかなど検証すべきでは。

**A** 本市では、厳しい財政状況の中で、常に既存のイベント、その他各種事業のあり方や内容について見直しに努めています。

また、他の事業との連携により効果を高めることは重要であると認識しており、医療・介護・健康関連事業の連携を図るなど、相乗効果を生み出すとともに、コミュニティ活動やまちづくり等を含めた総合的な事業展開を図る「健康のまちづくり」等の取り組みも推進しています。今後とも、社会情勢の変化を踏まえつつ、さまざまな機会を捉え、市民や有識者のご意見をお聞きしながら、策定、実施、検証そして見直し・改善というPDCAサイクルに基づいた市政運営に努めていきます。

(総務部長)

質問の項目  
質主・健康のまちづくりについて